



県政報告 2017冬

三重県議会議員

田中ゆうじ

田中ゆうじ事務所

〒515-0022 松阪市新屋敷町 409 番地

TEL0598-50-2322 FAX0598-50-2319

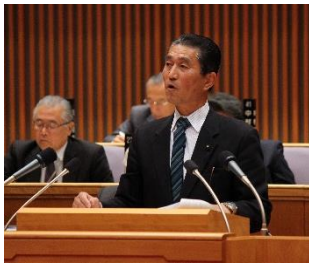
<http://tanaka-yuji.xrea.jp>

Email:toubu-01@mctv.ne.jp



12月4日 定例会での一般質問

1. 所有者不明土地について



質問：不動産登記簿等が更新されないため、「所有者不明土地」は日本の各地で増え続け、九州の面積を上回り、公共事業や民間の土地の有効利用を進める上で、大きな障害となっている。所有者不明土地に関する、国の動向及び県の対応はどうか。

答弁：国は所有者不明土地を利用する仕組みや相続登記の解消を図るための法律を来年の通常国会に提出する。

県としては、国の動向を注視して対応していきたい。

質問：全国平均の地籍調査率は52%となっている。進捗率99%の県がある中で、三重県は全国ワースト2位の9%しか進んでいない。県としてどのように地籍調査を促進していくのか。

答弁：地籍調査はトラブルの未然防止、土地の有効活用、公共事業の効率化、災害復旧の迅速化等様々な効果がある。関係部局と連携して調査を進めていきたい。

意見：県が主導で地籍調査を進めている和歌山県は、全ての市町村が調査を実施しており、着手率は100%である。三重県も県が主導で市町に敬意をもって取り組んでいただきたい。

2. 薬剤師の社会的活動に対する支援について

質問：災害時に医薬品等を迅速かつ円滑に供給するため、多くの自治体が、「災害薬事コーディネーター」を設置している。三重県においても、早急に導入を行っていただきたいがどうか。

答弁：熊本地震でも有用性が示されたことから、次年度に設置を進めたい。これまでの災害から得た経験や教訓を積極的に活用し、災害薬事に関する体制の強化を図っていく。

質問：「地域包括ケアシステム」を推進するためには、医療と介護の連携や在宅医療の充実が重要となる。掛かりつけ薬局の推進と共に薬剤師の確保支援にどう取り組んでいくのか。

答弁：本県の従事薬剤師数は全国平均を下回っていることから、薬剤師の確保が不可欠である。新卒薬剤師の確保、復職や再就職を希望する薬剤師に対し支援する取り組みを行っている。

3. 交通事故再発防止に向けた環境整備について



質問：松阪市では11月19日～22日までの4日間で、死亡事故が3件発生した。写真は3年連続しての「死亡事故現場」であるが、横断歩道は消え、街路樹で速度標識は見えない。県警は事故再発防止に向けてどのように取り組んでいるのか。

答弁：警察本部の再発防止研究班、管轄警察署、建設事務所による合同の現地調査を実施している。今回は横断歩道の塗り替え、道路標識の調整、カラー舗装、樹木伐採など道路交通環境の改善策を講じる。

意見：今後も道路管理者等と情報を共有し、交通事故防止に向け、取り組んでいただきたい。また、警察ばかりが矢面に立たされているが、交通安全施設整備事業の予算編成は、県の財政当局である。警察関連の予算にも光を当てていただきたい。

4. 豪雨による浸水対策について



質問：近年頻発する豪雨により、農地だけでなく住宅等にも甚大な被害が発生している。排水機場の更新整備に係る事業要件の緩和が必要ではないのか。

答弁：防災力を高める排水対策も必要なことから、関係市町と連携を図りながら、設計基準の緩和等を国に提言していきたい。

意見：県民が安心して暮らせるよう、浸水対策をお願いする。

日々の活動はブログに掲載しています。

http://blog.livedoor.jp/yuji_matsusaka

